

---

# 現場から見えてきたRPA運用の課題をJP1で解決！

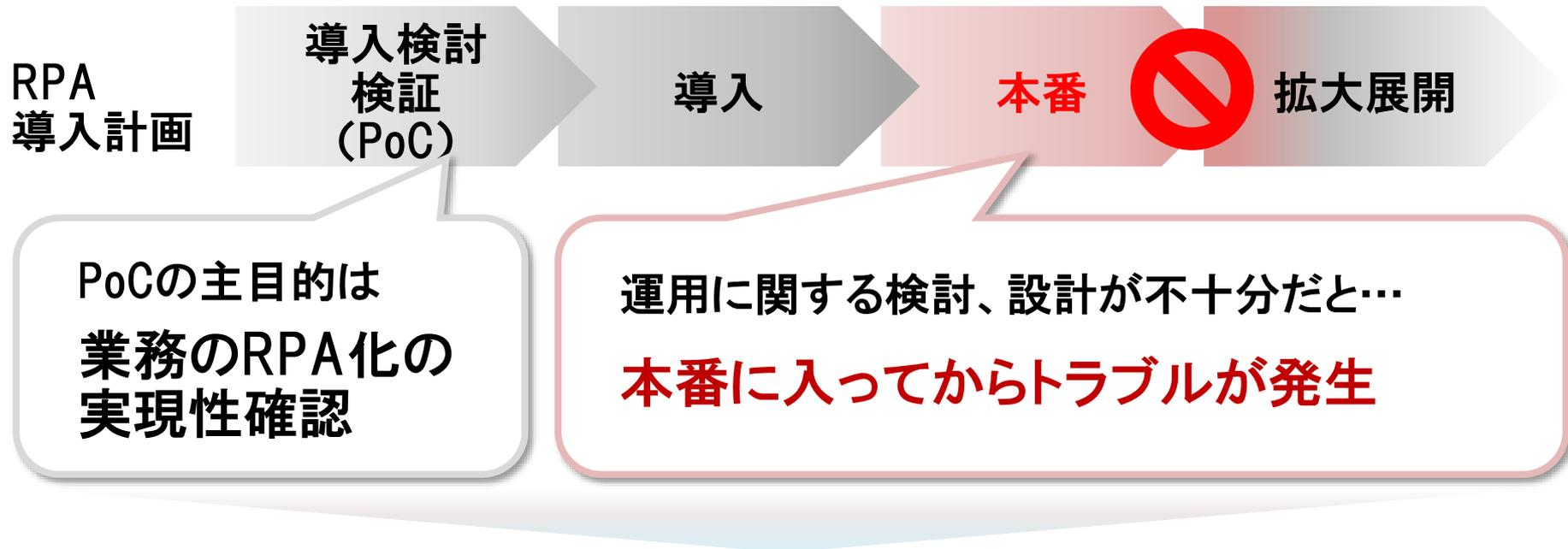
＜業務DXの効率化と安定稼働のご提案＞

- UiPath編 -

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部

- 
- 1. RPA本格導入の前に...**
  - 2. 現場から見えてきたRPA運用の課題**
  - 3. 連携事例**
  - 4. 連携時のシステム構成**

# 1. RPA本格導入の前に...



RPAの運用についても考えておきましょう

## 2. 現場から見えてきたRPA運用の課題

プロセス開発・修正

プロセス実行・変更依頼

監視運用

**課題①** プロセスの開発をシンプルにしたい

**課題②** プロセスの実行状況を簡単に把握したい

**課題③** プロセスの遅延を迅速に検知したい

**課題④** ロボットの空き状況を簡単に把握したい

**課題⑤** プロセスの実行失敗時に自動で再実行したい

**課題⑥** プロセスの終了を待って次処理を実行したい

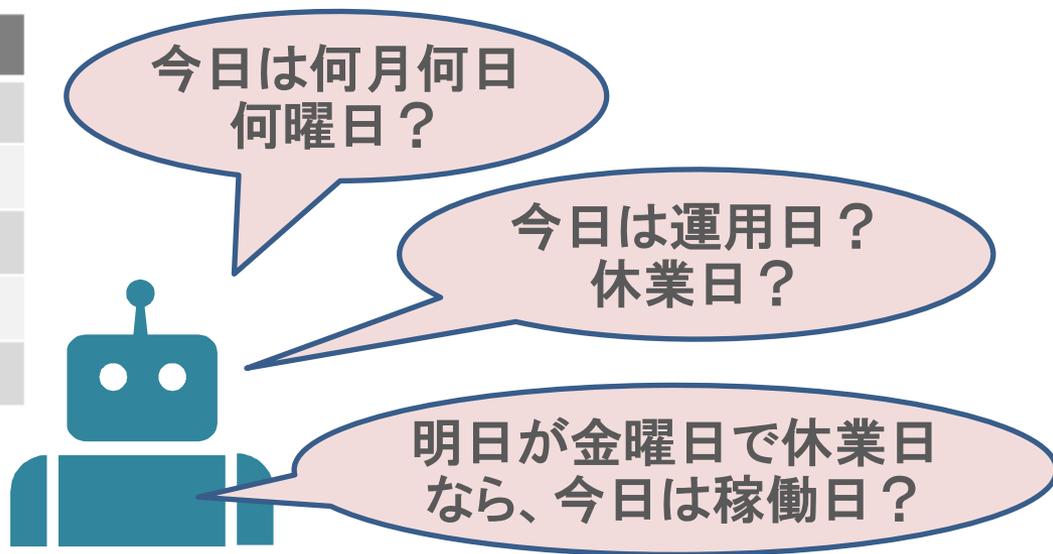
**課題⑦** 基幹業務とプロセスを連携したい

# 課題① プロセスの開発をシンプルにしたい

毎週末に実行する業務を自動化したいが、運用日や休業日を意識する必要がある...

業務カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			



実行スケジュールをプロセス側で意識するには、  
複雑な作りこみが必要になり、  
開発やメンテナンスのコストが増加してしまう。

# 提案① 実行スケジュールの作りこみを不要に！

**Point!** JP1/AJS3で、カレンダーに基づきプロセスを自動実行します。

JP1/AJS3の業務カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4		6
7	8	9	10	11		13
14	15	16	17	18		20
21	22	23	24			27
28	29	30	31			

面倒な休日の振替実行も、JP1なら  
簡単操作で設定&自動実行

## 他の便利な機能

- ・事業所や工場単位に別々の業務カレンダーで運用
- ・サイクル実行(日次、週次、月次)
- ・最終営業日や第一、第二営業日などきめ細かいスケジュール実行
- ・実行順序制御(業務フロー)など

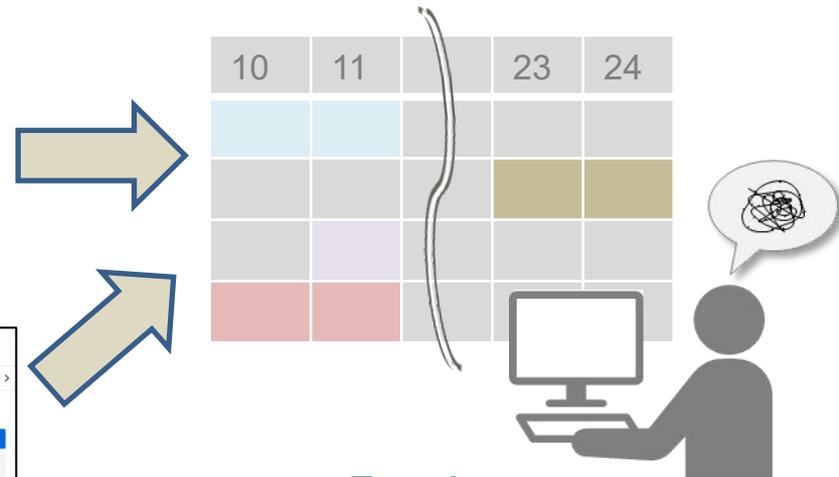
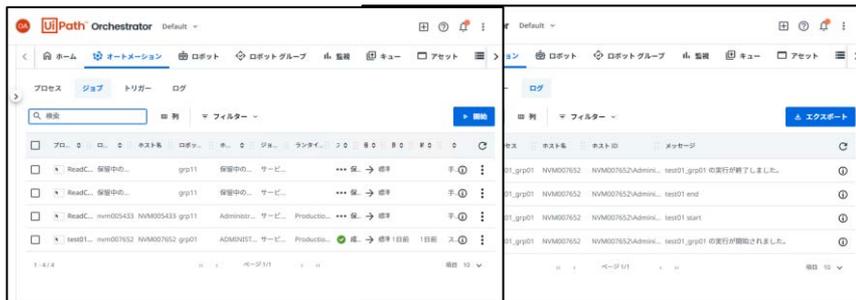
プロセス開発は純粋に業務の部分だけになるため、  
開発やメンテナンスのコスト増加を抑制できます。

プロセスは必ずしも予定通りに動くとは限らない。予定通りに正常に終わらなければ、他の業務やプロセスに影響が出てしまう。

## スケジュール画面



## 実行履歴画面

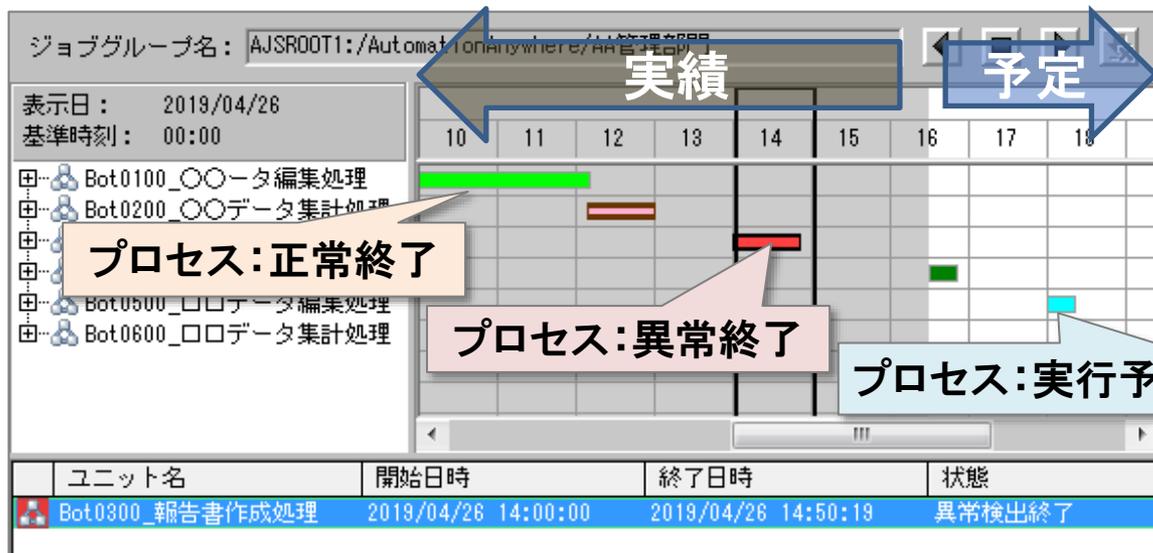


予定と実績を突き合わせようとすると、  
時間も手間もかかるので、分析は大変。

# 提案② プロセスの状況を一元的に把握！

**Point!** JP1/AJS3で、業務の予実績を可視化します。

JP1/AJS3のデリースケジュール画面



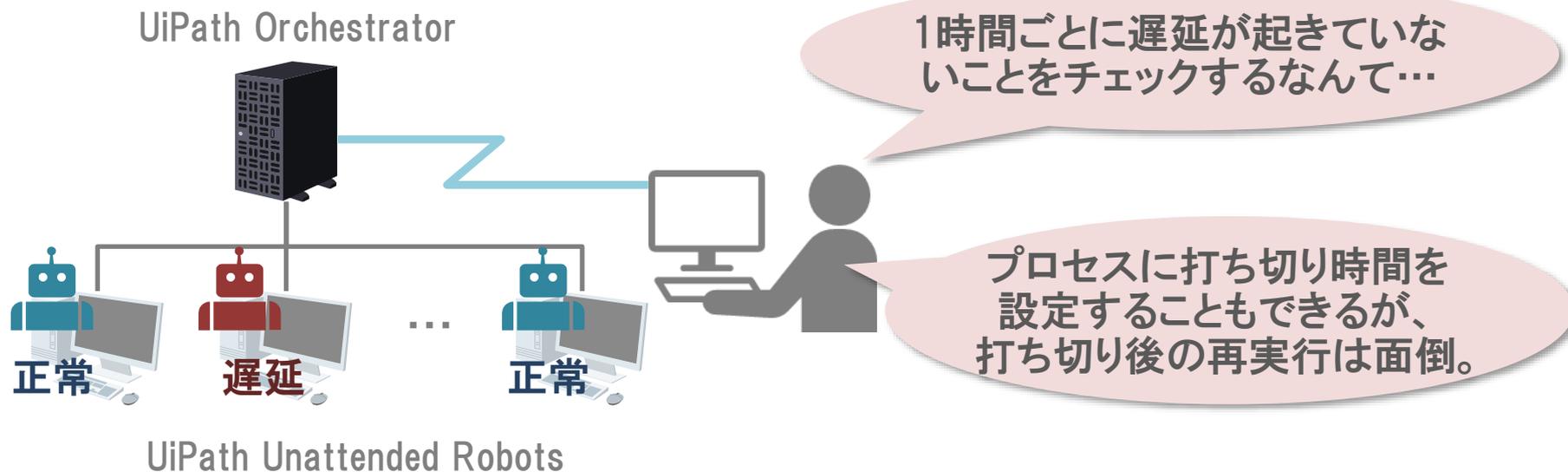
異常終了した入力用プロセスを18時までに修復しないと、18時からの集計用プロセスが動けなくなってしまう！



すぐに対策だ！

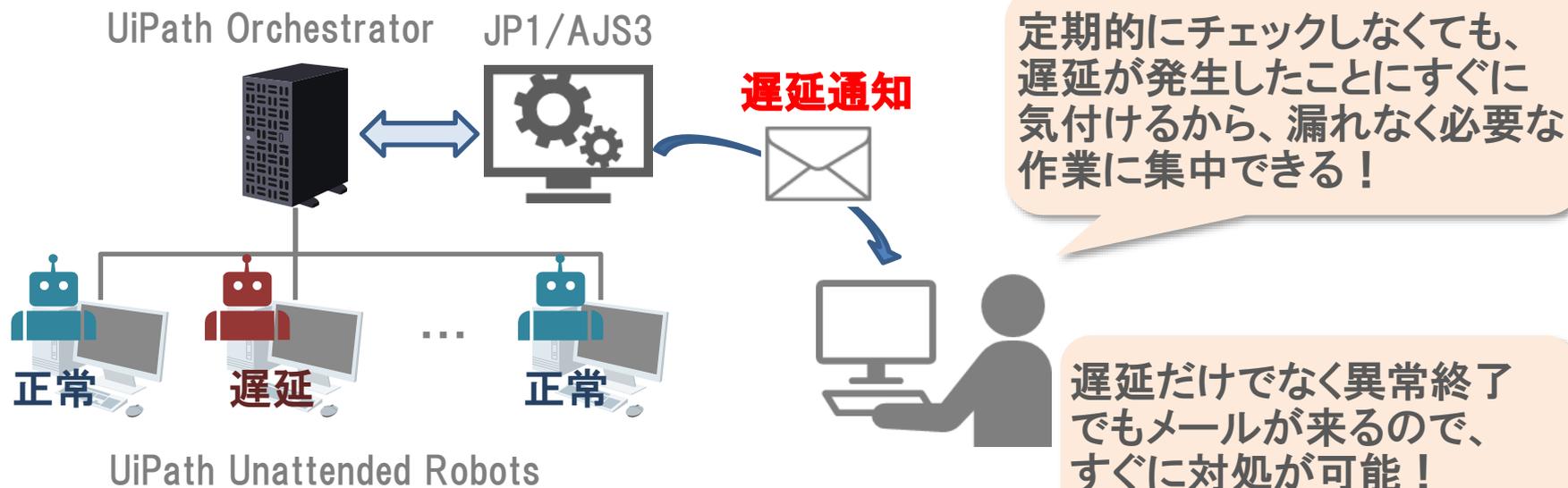
時間や手間をかけずプロセスの実行予実績を把握できるので、問題発生時の影響分析や、プロセスの改善検討に活用できます。

定時になってもプロセスが終っていないことに気が付いた。  
もう少し早くわかっていれば...



障害と異なり遅延の発生は気付きにくい。  
UiPath Orchestratorを定期的に確認する必要があるが、  
**手間がかかる。**

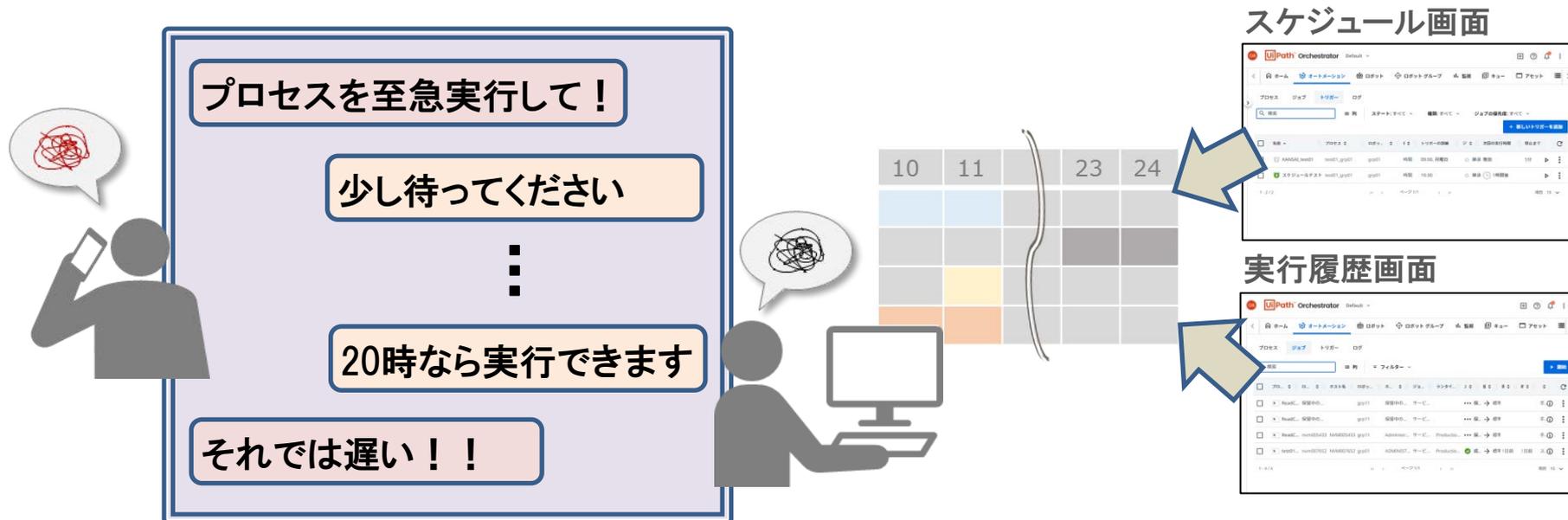
**Point!** JP1/AJS3で、プロセスの遅延監視を行います。



遅延チェックの定期巡回や、 unnecessary 強制打ち切りがなくなり、運用にかかる手間をさらに削減することができます。

## 課題④ ロボットの空き状況を簡単に把握したい

緊急のプロセス実行要請を受けたが、ロボットの空き状況を確認して、要請にフィットさせるには時間がかかる。



スケジュール(予定)と実行履歴(実績)の突き合わせは、ロボットの空き状況を把握するためにも必要だが、**手間がかかる。**

# 提案④ ロボットの稼働状況も一元的に把握！

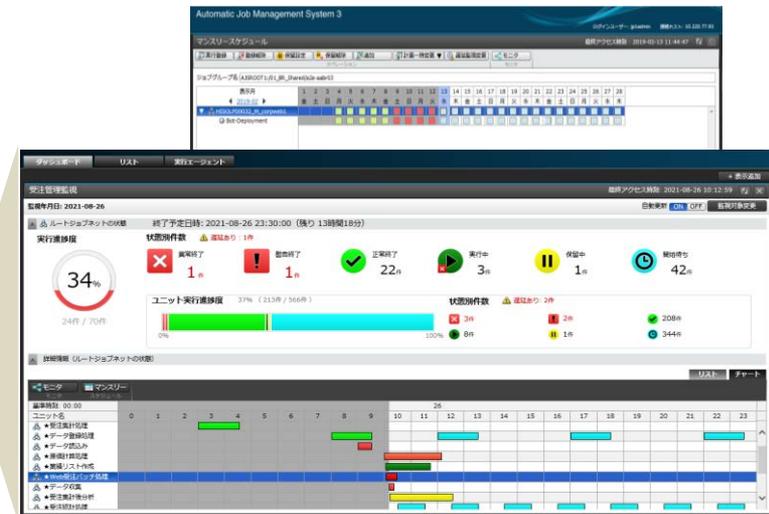
**Point!** JP1/AJS3で、ロボットの稼働状況を可視化します。

プロセスを至急実行して！

18時に実行できます

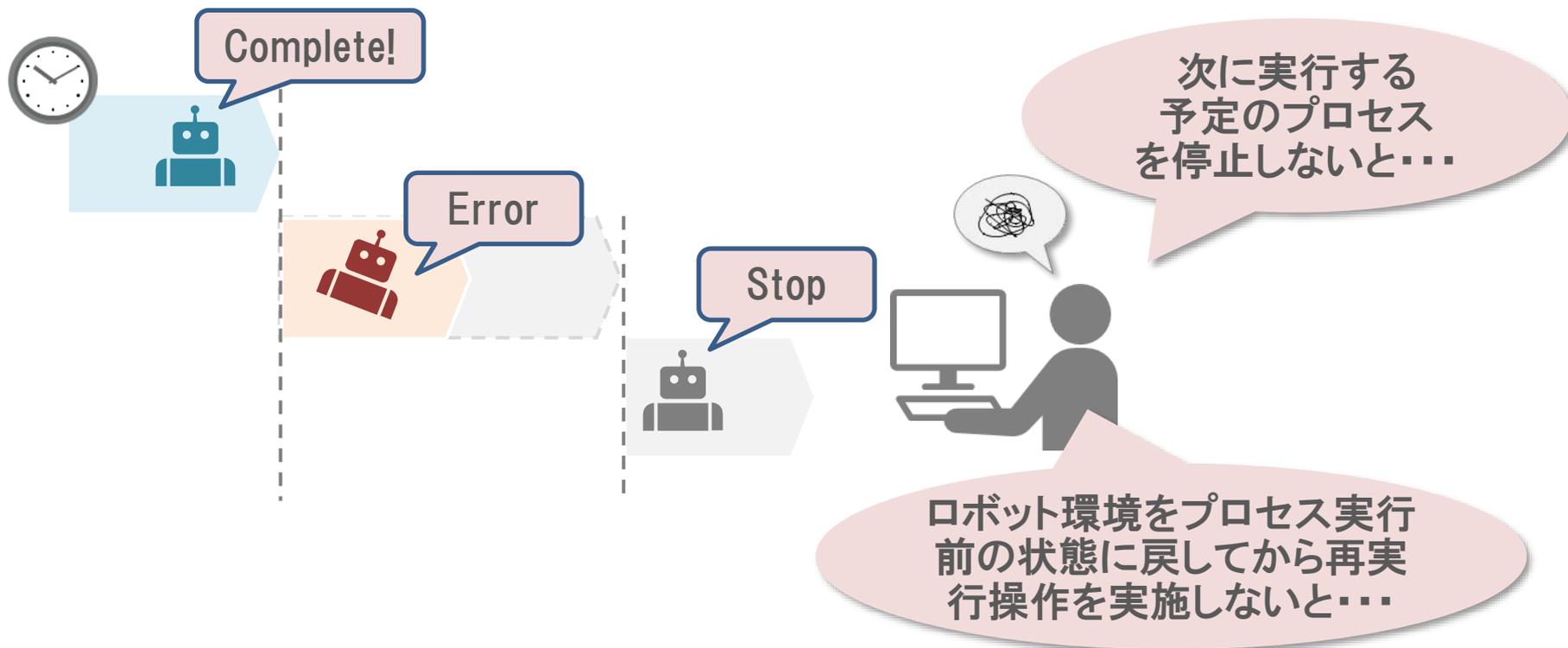
ありがとう！

JP1/AJS3のデイリー・マンリースケジュール画面



時間も手間もかけずロボットの稼働状況を把握できるので、作業効率だけでなく、サービスレベルの向上にも結び付けることができます。

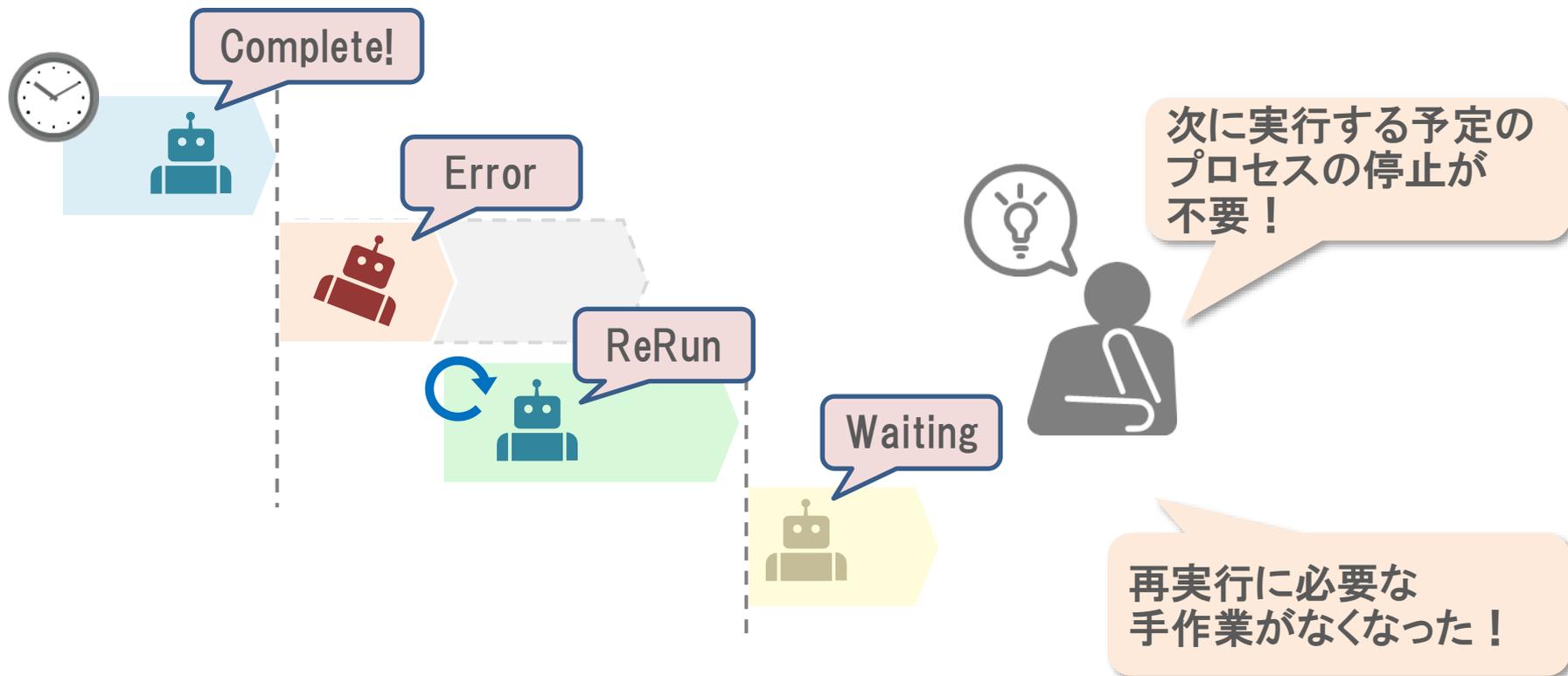
プロセスの実行に失敗した場合、プロセスを再実行するには手間がかかる。



プロセスを再実行するには、スケジュールの調整や手作業での再実行操作が必要なため、**時間も手間もかかる。**

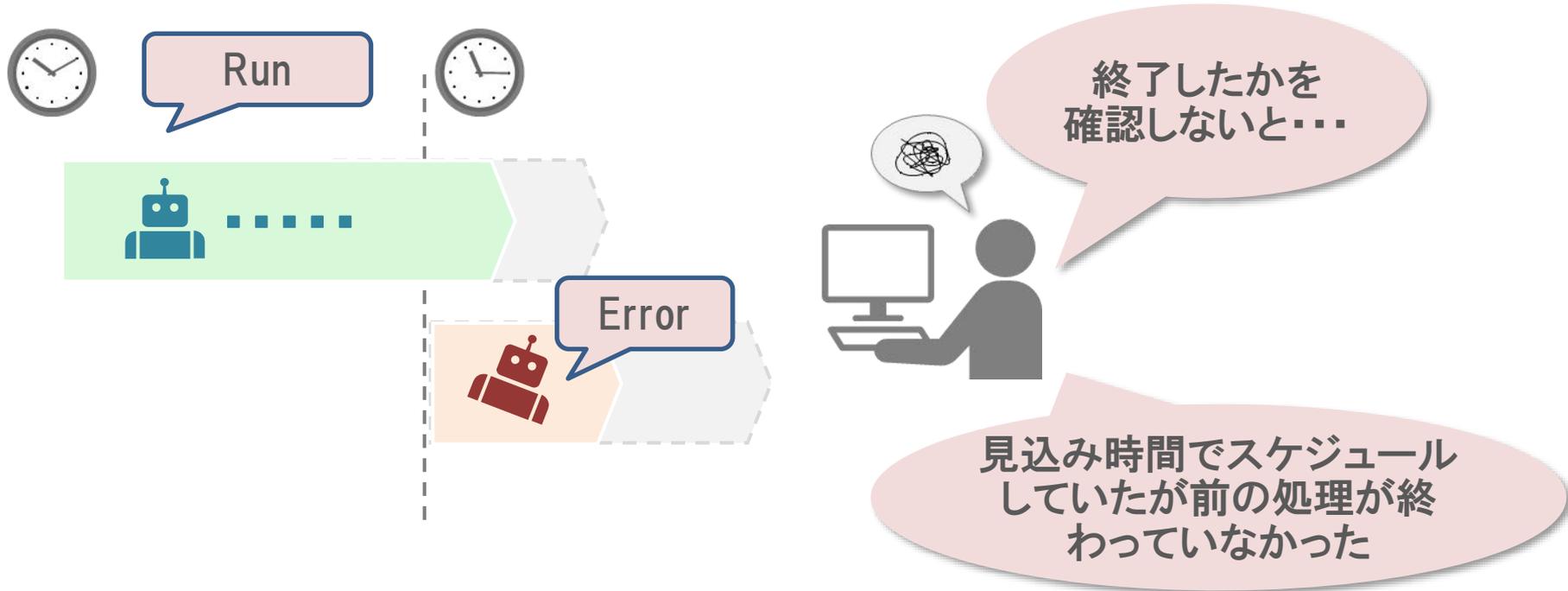
# 提案⑤ 自動でプロセスを再実行します！

**Point!** JP1/AJS3で、プロセスの自動再実行を行います。



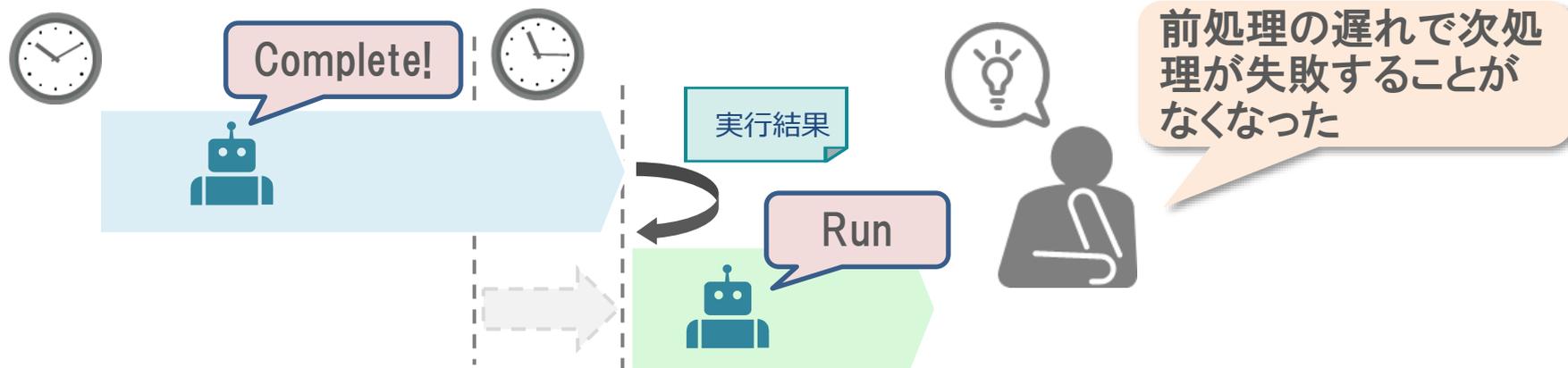
再実行に必要なスケジュールの調整や手作業が不要となり、運用にかかる手間をさらに削減することができます。

プロセスが終わっていないのに、次の処理が始まってしまい  
次の処理がエラーになってしまった。

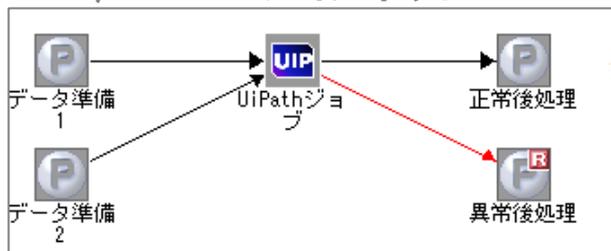


プロセスが終了したかを確認する必要があるが、  
プロセスごとに確認するには**手間がかかる**。

**Point!** JP1/AJS3で、処理順序や実行待ちを制御します。



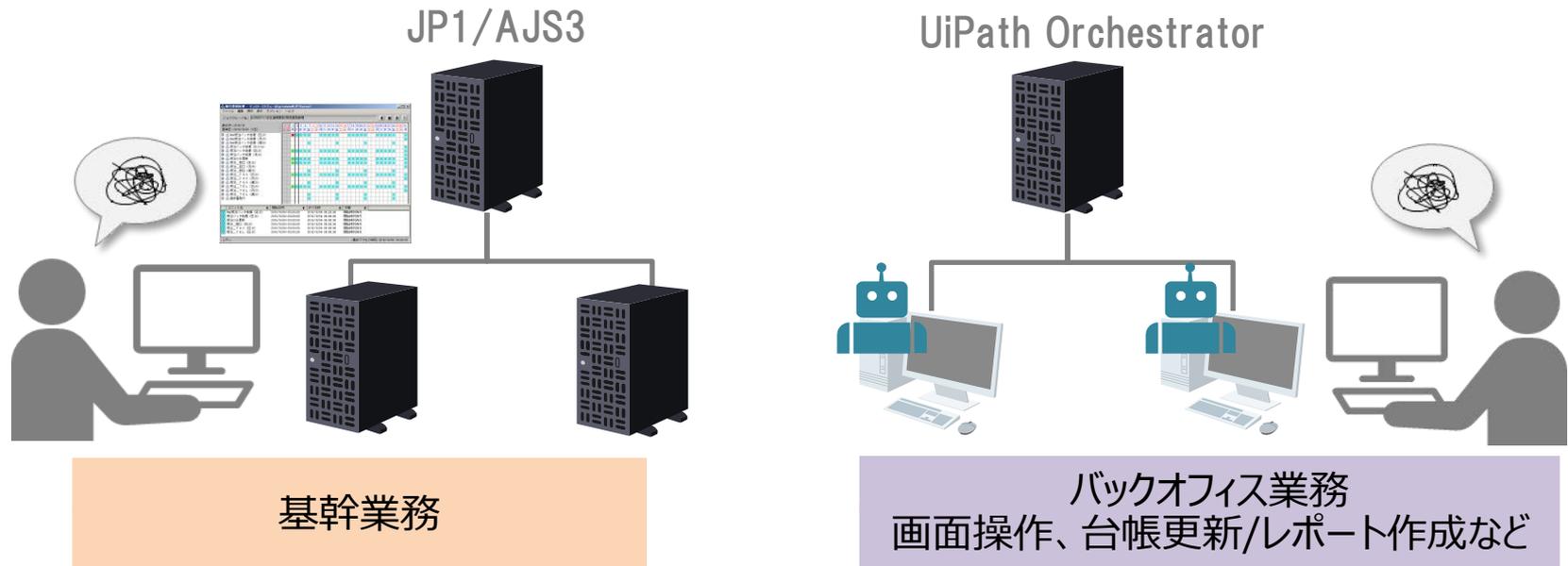
JP1/AJS3のジョブネット



関連線を引くだけで処理順序を制御。前後処理の集約や分岐も可能！

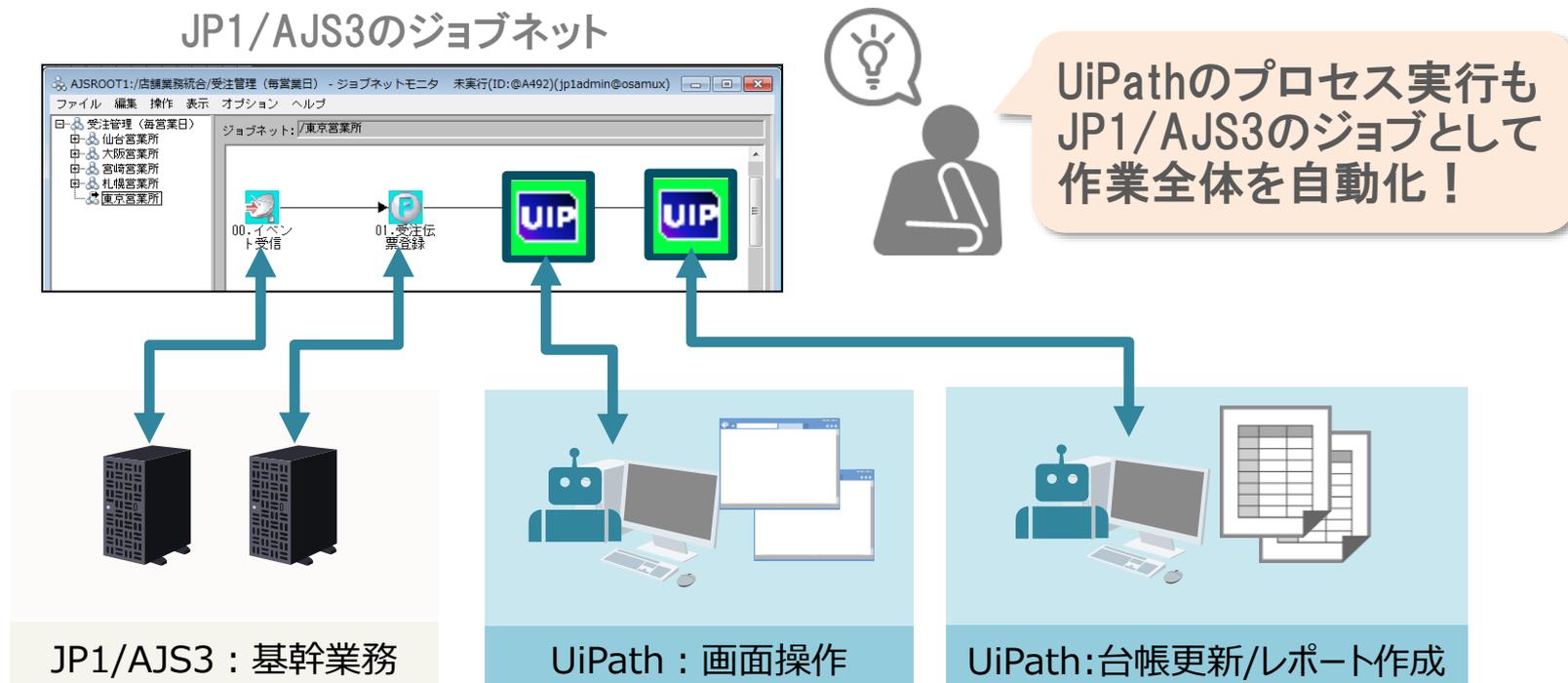
UiPathの実行だけでなく前後処理を含めて自動化することで、運用の負荷を軽減できます。

基幹業務のジョブとUiPathのプロセスが独立しているためそれぞれで実行や結果の確認が必要で効率が悪い。



JP1/AJS3の画面とUiPath Orchestratorの画面の両方で管理しているため効率が悪い。

## Point! JP1/AJS3で、基幹業務とUiPathの処理を統合



業務システムのジョブとUiPathのプロセスをJP1でまとめてJP1/AJS3の画面で操作できます。

## 事例（公共） JP1連携でRPAの柔軟なスケジュール実行を実現

### Before

#### 業務内容・運用課題

自動化したい業務ごとに特定日や週次、月次で実行する業務があるが、実行日が休日の場合は手作業での設定変更が必要になり作業負荷が大きい。また設定ミスも発生しやすい。

#### 従来の運用



RPA

- <自動化した業務（通勤手当の認定）>
- 自宅から職場までの距離確認
  - 自宅からの最寄り駅検索
  - 経路検索
- など

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

実行日が  
休日



実行スケジュールの変更が必要

手動での設定変更の負荷が高い

## 事例（公共） JP1連携でRPAの柔軟なスケジュール実行を実現

After

### JP1×RPA連携導入後

業務ごとに稼働日カレンダーを設定。さらに、実行日が休日の場合も自動で振り替えされるため、手動で変更する必要もなくなり業務負荷を低減。

### JP1×RPA連携導入後の運用



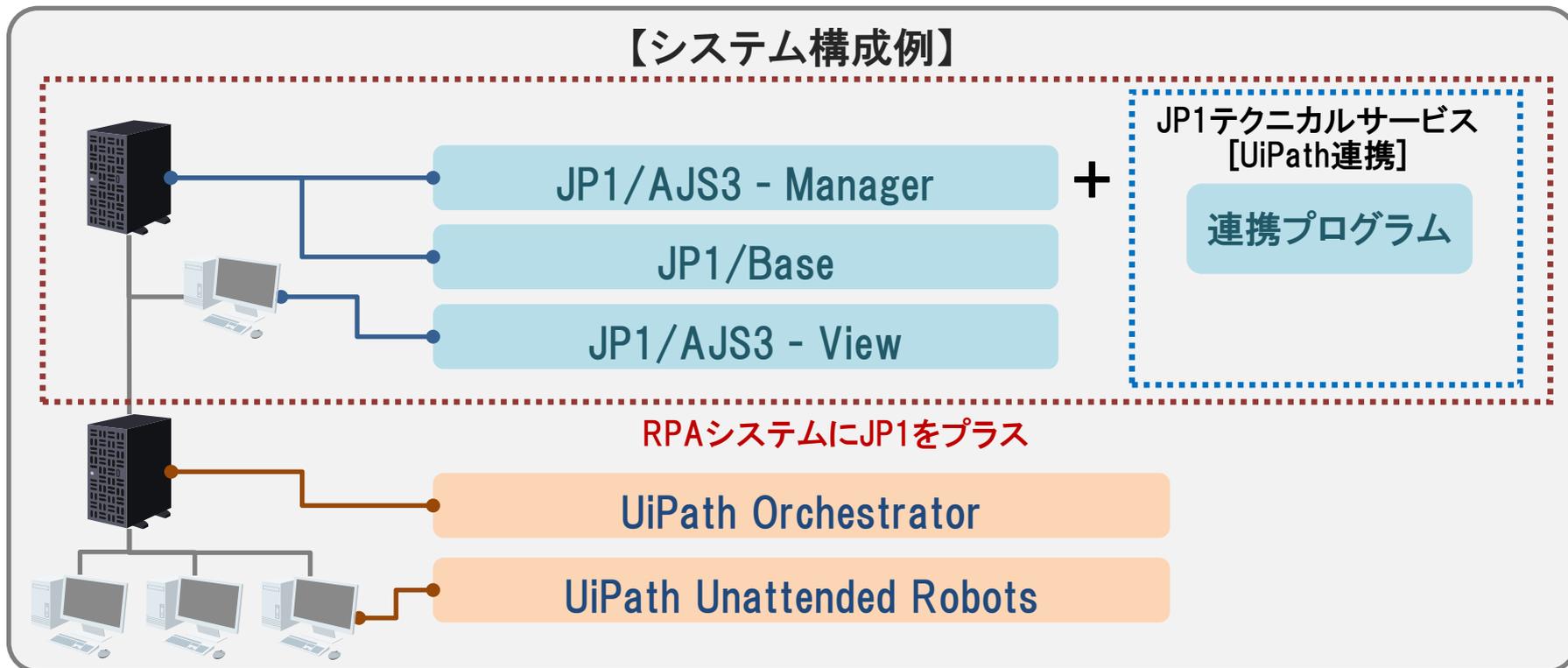
導入効果

JP1の導入により、業務カレンダーによるスケジュール実行で担当者の手作業が減り、実行予定・結果の確認も容易になった。

## 4. 連携時のシステム構成

RPAを導入するだけでは、解決できないさまざまな課題を  
JP1テクニカルサービス [UiPath連携] で解決します。

【システム構成例】



JP1テクニカルサービス [UiPath連携] では、UiPathのロボット実行を管理するための連携プログラムを提供し、環境構築から操作方法の教育・トレーニングまでをトータルにご支援します。

略 称	正式名称
JP1/AJS3	JP1/Automatic Job Management System 3

- ・ Excelは、マイクロソフト 企業グループの商標です。
- ・ UiPathはUiPath社の米国およびその他の国における商標です。
- ・ その他記載の会社名、製品名などは、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

- ◇本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法の規制ならびに米国の輸出管理規則など外国の輸出関連法規をご確認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明な場合は、当社担当営業にお問い合わせください。
- ◇本資料の内容は将来、予告なしに変更する場合があります。
  - 画面表示をはじめ、製品仕様は、改良のため変更することがあります。
  - 動作環境（プラットフォーム対応、仮想環境対応）については、JP1ホームページ（製品情報サイト）で最新情報をご確認ください。
  - マイクロソフト製品のスクリーンショットは、マイクロソフトの許可を得て使用しています。

**END**

---

**現場から見えてきたRPA運用の課題をJP1で解決！  
＜業務DXの効率化と安定稼働のご提案＞  
-UiPath編-**

株式会社 日立製作所 サービスプラットフォーム事業本部



Hitachi Social Innovation is  
**POWERING GOOD**